

平成10年度に教育センターに長期研修に行きました。実際は教育相談電話の電話相談を受けていました。その時に論文を書く必要から、教育業界の業種別にアンケートを取りました。

センター指導教官からの助言で、業種別アンケートは長らくお蔵入りしていました。

25年ほど前のことです。当時のアンケート結果に驚いた記憶があります。アンケートは養護学校、中学校、つてを頼って首都圏の進学塾である「千葉進研」にアンケートを取りました。

そこは激戦の首都圏で生き残り、今も教室数を伸ばしているそうです。今日提示するのは「今一番時間をかけているもの」というアンケート結果です。学習塾・養護学校・中学校 いずれも子供が学習するための場所です。

まず学習塾です。明確で当然です。子供に教える授業・授業準備の時間を最も多く取っています。養護学校を見てみましょう。授業準備より会議打ち合わせの時間が多くなっています。

特支学校は30年前まで 4時に終礼があり、後は自由な時間でした。帰宅する人もいましたが熱心に授業準備する人もいました。この時期より4時終礼がなくなり、放課後 会議で全員参加の時間が増えたようです。

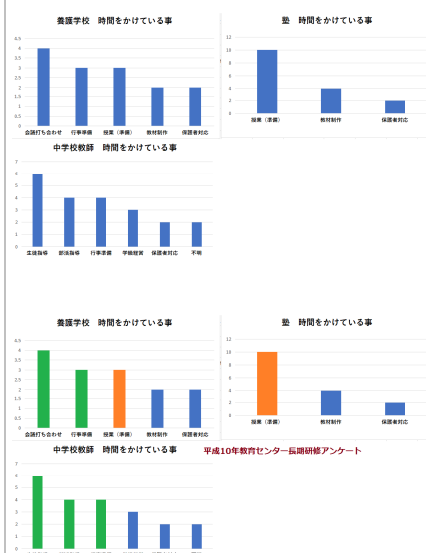
中学校はどうでしょう。生徒指導や行事、部活が多く、授業の準備ができていないのがわかります。30年前は教師の部活動顧問は任意で、生徒だけで活動していた部もありました。

この時期より教師顧問の部活指導が必須になり、学校行事も急激に増えていきました。

さらに朝日新聞の教師多忙原因のアンケートを見てください。学校は何をすることろか明確にすべき時が来たのかもしれませんが。

今 現状から、なすべき事を考えてみてください。

END



平成10年（1998年）のアンケート

随分と昔です

今は会議を減らしたり

行事や部活動を合理化しているはず